

「物部川プラごみ調査&清掃活動」を開催しました！

(主催：物部川21世紀の森と水の会、参加：(株)伊藤園ほか企業・団体等)

12月23日(土)、物部川21世紀の森と水の会の主催・呼びかけにより、物部川流域関係者(企業・団体等)40名程度が参加し、物部川支川の香宗川放水路東側(香南市香我美町岸本)の海岸150m四方において、「物部川プラごみ調査&清掃活動」を行いました。

最初に主催者代表から参加者に向けて、海岸に打ち上げられているごみはどこから来ているのかやプラスチックごみの課題について考えながら安全に活動してほしいとの挨拶がありました。

続けて、高知県清流保全パートナーズ協定企業の株式会社伊藤園から「お〜いお茶『お茶で高知を美しく。』キャンペーン」で物部川を支援していることや参加している従業員の紹介がありました。

その後、事務局からごみの収集・分別方法について説明があり、参加者それぞれがごみの種類(①ペットボトル、②プラ製容器包装、③その他プラスチック、④カン類、⑤ビン類)のうちいずれか一つの回収を選択しました。

堤防の上から海岸を見渡すと、彼方こちらで白っぽく反射するものがあり、それらがペットボトルであることに驚きました。海岸に降りると、浜に打ち上げられた沢山のペットボトルや食品容器、トレイ、発泡スチロールなどがあり、皆で丁寧に回収していきました。波に揉まれてマイクロプラスチック化しているものが多くありましたが、回収は困難で、今回の調査では大きいものを中心に回収しペットボトルの本数や重さなどを量りました。

結果集計までの合間に記念撮影。伊藤園から提供いただいたお茶を飲みながらほっと一息、日ごろお付き合いのある方や初顔合わせの方それぞれに言葉を交わすなど笑顔も多く見られました。また、堤防の上から海岸を見渡すと、見違えるほどきれいになっていました。

最後にごみの集計結果発表があり、ペットボトル737本・26.0Kg、発泡スチロール4.7Kg、その他プラスチック類18.9Kg、カン類110本・3.5Kg、ビン類15本・2.7Kgという結果でした。多い時にはこの2倍量のごみが浜に打ち上がっているようで、ごみ問題は大きな課題であると改めて認識した方も多かったと思います。この調査結果は、令和6年1月31日(水)に開催される「物部川フォーラム」会場で公表するという事です。

今後、こういった活動を協働の仕組みとして実行していく予定であり、その第一歩としても実りある一日となりました。



